

計画から誕生した「とりのもと」の活動

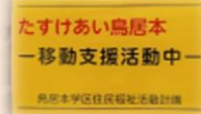


草刈り

電球交換

送迎支援

たすけあい鳥居本



数字で見る鳥居本学区

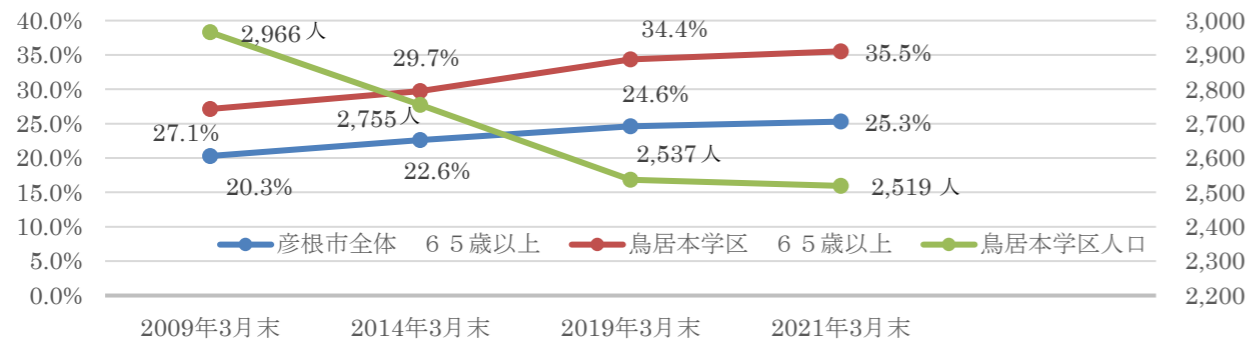
高齢者のみの世帯（令和3年12月時点）	
高齢者独居世帯	高齢者複数世帯
194	181

【人口構成】（彦根市から情報提供）令和3年12月時点

	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計	世帯数
人数	57人	267人	476人	778人	904人	2,482人	1,145世帯
構成率	2.2%	10.7%	19.1%	31.3%	36.4%		

【学区及び市全体の高齢化率の推移と学区人口推移】

（彦根市HP 人口統計から作成）令和3年3月末時点



- ・学区の人口は、12年前に比べて15%（人数：447人）減少しています。
- ・学区の高齢化率（65歳以上）は、12年前に比べて8.4ポイント高くなっています。また、市平均に比べて10ポイント高くなっています。

策定・編集・発行：さんあかトリプルAプラン
（鳥居本学区第2次住民福祉活動計画策定会議）

この計画書は、 「赤い羽根共同募金」の助成金で作成しています。

鳥居本学区 2022>>>2026 第2次住民福祉活動計画 さんあかトリプルAプラン

【とりのもとの”さんあか”】

鳥居本の3つの宿場名物「赤玉神教丸」「鳥居本合羽」「鳥居本すいか」になぞらえ、この計画を推進することにより実現したい3つのAから名付けられました。

安心(A) 安全(A) 安住(A)



鳥居本の「さんあかレンジャー」
平成24年 誕生

これからも わたしたちの まち



とりのもと

彦根市歴史まちづくり部文化財課 提供



豊かな自然と歴史に囲まれた鳥居本学区。「さんあかトリプルAプラン」は、そんな鳥居本の魅力や良さを伝え、誰もが住んで良かった！これからも住み続けたい！そう思える街にしていくために、必要なことや続けていくこと、また、新たに取り組んでいくことや進めていくことを書き表したもの。小さな子どもからお年寄りの方まで、鳥居本のみみんなを包み込む”未来づくり”の行動計画です。

基本理念

～わたしがつくる みんなでつくる～

豊かな自然と歴史の中でともに支え合うまち 鳥居本

さんあか トリプルAプラン

(安心・安全・安住)

鳥居本学区
第2次住民福祉活動計画
策定会議

鳥居本のための「⑤だんの④らしの③あわせ計画」



計画の推進期間:令和4年度～令和8年度

『鳥居本学区第2次住民福祉活動計画』は、安心・安全・安住の鳥居本のまちづくりを目指して、鳥居本の自然や宿場町、福祉、防災、お互いさま、支え合い、愛など、さまざまなエッセンスを伝えたい“魅力”として創り上げられた計画です。これからも鳥居本に住みたい！住んで良かった！鳥居本に住むみんなを包み込むまちづくりの道標です。

これからも わたしたちの まち と・り・い・も・と

住民総活躍 “とよいもと”のまちづくり



活動目標1

安全・安心・災害に強いまちづくり

具体的な取り組み

- ◆ 各自治会の防災計画の確認と見直しをする
- ◆ 各地域のハザードマップを作成する
- ◆ 住民一人ひとりが防災意識を高めて行動をする

活動目標2

いつまでも健康で、 いきいきと暮らせるまちづくり

具体的な取り組み

- ◆ 健康に関する取組や知識の情報発信をする
- ◆ 健康づくりサークルへの登録人数を倍増する

活動目標3

さんあか(鳥居本の魅力)の 掘り起こしと発信

具体的な取り組み

- ◆ 鳥居本住民のための、鳥居本住民による魅力再発見の探訪会を実施する
- ◆ 「鳥居本ええところマップ」をつくる
- ◆ さんあか会館を活用し、鳥居本の魅力を発信する

活動目標4

地域みんなで見守り、 子育てができるまちづくり

具体的な取り組み

- ◆ 子どもも大人もあいさつが飛びかうまちづくりを推進する
- ◆ 鳥居本の宝(自然・人)を活かして、地域で子育てができるまちづくりを推進する